

食育推進施策実施状況

食育推進施策 1 家庭における食育の推進

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	H25年度目標	H25年度実績	H26年度予定・目標
1	朝食毎日きちんと食べよう大作戦	保福(健推)	朝食欠食率の高い若い世代に対して、朝食の大切さの普及啓発を実施し、「第2次健康おかやま21」の目標である学童期の朝食摂取100%の達成に向けて、おにぎりづくりを中心とした普及啓発イベントを行う。	朝食を毎日食べる者の増加	小学生 中学生 100% (H29)	<p>事業名:朝食毎日きちんと食べよう大作戦 期日:平成25年8月2日 場所:岡山県南部健康づくりセンター 参加者:総社市内小学生24名、県知事、保健福祉部長、栄養委員、事務局員 内容:おにぎり等短時間で簡単にできる朝食メニューの調理実習、フードモデル(食育SATシステム)を使った体験実習</p> <p>○朝食を毎日食べる者の割合 小学生:94.0% 中学生:84.1%</p>	<p>事業名:朝食毎日きちんと食べよう大作戦 期日:平成26年8月6日 場所:岡山国際交流センター 参加者:新見市内小学6年生17名、県知事、栄養委員、事務局員 内容:おにぎり等短時間で簡単にできる朝食メニューの調理実習、フードモデル(食育SATシステム)を使った体験実習</p> <p>○朝食を毎日食べる者の割合 小学生、中学生 100%</p>
2	「ぱっちり!モグモグ」生活リズム向上キャンペーン	教育(生涯)	早寝、早起き、朝ごはんなど、子どもの望ましい基本的生活習慣を育成し、生活リズムの向上を一層推進するために、市町村をはじめ、学校、幼稚園やPTA等の関係団体、保健福祉部局等とも連携し、地域ぐるみで取組を推進する。			<p>○キャンペーン月間 ・おかやま教育の日(11月1日)を含む1か月間 ○キャンペーン週間 ・5月、6月、9月、1月のうち、それぞれ2週間 ・学校園の取組:372学校園 ○キャンペーン後の取組 ・優良活動表彰(7学校園)</p>	<p>○キャンペーン月間 ・おかやま教育の日(11月1日)を含む1ヶ月間 ○キャンペーン週間 ・5月、6月、9月、1月のうち、それぞれ2週間 ○キャンペーン後の取組 ・優良活動表彰</p>

食育推進施策 2 地域における食育の推進

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	H25年度目標	H25年度実績	H26年度予定・目標
3	給食施設管理者・従事者研修会の開催	保 福 (健推)	給食施設の管理者・従事者に対して、栄養管理・衛生管理等についての研修を行い、利用者の健康保持、増進を図る。		各保健所・支所で実施	<ul style="list-style-type: none"> ○「給食施設管理者教育研修会」 回数:8回、参加者:415施設450人 ○「給食施設従事者研修会」 回数:17回、参加者594施設945人 ○「岡山県特定給食関係者研修会 (岡山県給食協議会委託)」 参加者:1,152名(うち管理者115名) ○「岡山県栄養士研修会 (岡山県栄養士会委託)」 参加者:115名 	各保健所・支所で実施予定
4	健康づくり普及事業	保 福 (健推)	「健康づくりのための食生活指針」の基本を踏まえて、住民の健康づくりに対する意識を高め、望ましい食習慣の定着を促進するため、地域の特性に応じた事業を実施する。		各保健所・支所で実施	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり普及教室 (1) 栄養委員研修会:232回、5,918人 (2) 食生活講座:1,642回、42,500人 (3) 一口運動:205,050人 2 健康づくり普及イベント 604回、50,583人 	各保健所・支所で実施予定
5	食育サポート事業	保 福 (健推)	食育を総合的に推進するため、県内各地域で関係者の連携を深め、各地域の特性を生かした取組を進めるため、食育ネットワーク会議を開催する。		各保健所・支所で開催	<ul style="list-style-type: none"> ○食育ネットワーク会議の開催 各保健所・支所で計14回 	各保健所・支所で実施予定
6	ホームページ「第2次健康おかやま21」の充実	保 福 (健推)	21世紀の県民健康づくり指針「第2次健康おかやま21(食育含む)」を広く県民に普及するために開設したホームページの充実を図る。		—	適宜更新	適宜更新
7	おかやま食育推進協賛事業	保 福 (健推)	地域で活動を行っている各種団体や、学校、企業、市町村等が行う事業で、食育推進の目的に沿って実施される事業を協賛事業として認定し、ホームページ等に掲載し活動を紹介する。よい事例は表彰を行う。		—	<ul style="list-style-type: none"> ○おかやま食育推進協賛事業 10件認定 (当初からの認定数は40件) 	実施予定

食育推進施策 3 学校・保育所等における食育の推進

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	H25年度目標	H25年度実績	H26年度予定・目標
8	学校給食担当者等講習会	教育(保体)	学校給食と食育(食に関する指導)の意義と役割について認識を深め、安全で魅力ある学校給食及び学校給食指導の充実を目的に実施する。			主催:岡山県教育委員会 共催:公益財団法人 岡山県学校給食会 対象:給食主任又は学校給食担当教諭等、市町村教育委員会の学校給食担当者等 期日:平成25年7月4日 場所:岡山県総合教育センター	隔年実施である。
9	岡山県学校給食研究協議大会	教育(保体)	学校給食の意義と役割について認識を深め、その指導と管理運営の改善充実を図るため、当面する諸問題(衛生管理、栄養管理、健康問題等)について研究協議を行い、学校給食の充実発展と、職員の資質向上を図る。			主催:公益財団法人 岡山県学校給食会 共催:岡山県教育委員会 対象:学校給食関係者 期日:平成25年7月30日 場所:コンベックス岡山 840名参加	主催:公益財団法人 岡山県学校給食会 共催:岡山県教育委員会 対象:学校給食関係者 期日:平成26年7月28日 場所:コンベックス岡山
10	栄養教諭を中核とした食育推進事業	教育(保体)	栄養教諭が中核となって、家庭や地域の団体等と連携・協力した食育の取組を行うとともに、家庭に対する効果的な働きかけの方策等について調査研究を行う。			「栄養教諭を中核とした食育推進事業」(地域は早島町)で実施。	H26は、文部科学省委託「スーパー食育スクール事業」を実施。
11	小学生を対象とした社会科副読本	農水(農産)	次代を担う小学生を対象に本県の農林漁業の実態を正しく理解させるとともに、「食の大切さ」の認識を深め、「心の豊かさ」を醸成することを目的に、社会科副読本として作成・配布(岡山県農林漁業担い手育成財団助成事業)			児童用19,300部、教師用1,400部を作成、配布した。	実施予定
12	噛ミング30運動	保福(健推)	小学校給食時にかみかみセンサーを用いての噛む回数を調べ、食べ物のかたい、軟らかいで回数がどれ位違うか体験することを通じて食育を学ぶ。			学校園に歯科衛生士を派遣し、よく噛んで食べる習慣が形成されるよう35校園で健康教育を行った。	よく噛んで食べることに関心をもてるよう、学校園と連携して噛ミング30運動に取り組む(50校園実施予定)。
13	岡山県学校歯科保健研修会	保福(健推)教育(保体)	学校歯科保健関係者を対象に研修会を開催し、資質の向上を図る。			学校関係者向けの月刊誌「心とからだの健康」に噛ミング30研究成果を発表。	平成27年1月22日実施

食育推進施策 4 生産・流通等における食育の推進

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	H25年度 目標	H25年度実績	H26年度予定・目標
14	栄養食品普及指導事業	保 福 (健推)	各保健所で講習会を開催し、加工食品・外食の栄養成分表示や保健機能食品制度に関する知識の普及を図る。		各保健所・支所で実施	○栄養表示基準制度講習会 回数:11回 参加者:350人 ○相談指導:25人	各保健所・支所で、食品の虚偽・誇大表示等に関する事業者からの相談指導に応じ、食品の表示に関する知識の普及を図る。
15	食環境整備事業「栄養成分表示の店」登録事業	保 福 (健推)	飲食店で提供しているメニュー(献立)のうち、提供頻度の高い献立5つ程度について、エネルギー、たんぱく質、脂質、炭水化物、塩分の量を表示する店舗の登録を行い、食を通じた健康づくりを推進する。 併せて、おいしーヘルシー提供店の健康的なメニュー開発を支援する。	栄養成分表示に協力する施設の数	2,000施設 (H34.3月末)	○栄養成分表示の店登録数 1,043施設(H26.3.31現在)	○栄養成分表示に協力する施設の数 2,000施設(H34.3月末)
16	ふるさと農林漁業少年団	農 水 (農産)	小中学生を対象として、市町村の地域・集落で農林漁業に関する少年団を組織し、農林漁業の体験学習、集落・地域子供農園の設置等を実施(岡山県農林漁業担い手育成財団助成事業)		実施予定	3地域で実施	実施予定
17	農林業実践学習の里体験学習農園	農 水 (農産)	農作業や農村生活等の体験を通じて、農業に対する理解を深めるとともに、将来のたくましい担い手の育成を図るため、小・中学生等を対象に農作業の体験学習を実施(岡山県農林漁業担い手育成財団助成事業)		実施予定		No.20と統合
18	学校給食用牛乳供給事業	農 水 (畜産)	(学校給食用牛乳の供給) 安全で質の高い県産牛乳を学校給食に継続して安定供給することで、児童生徒の体位体力の向上と牛乳の消費拡大に資する。			(学校給食用牛乳の供給) 592校、174,247人～32,145,490本(200cc換算)を供給予定	(学校給食用牛乳の供給) 587校、176,703人～33,569,882本(200cc換算)を供給予定

No	施策名	部局	取組内容	取組指標	H25年度目標	H25年度実績	H26年度予定・目標
19	市民農園や空き農地等を活用した体験の推進	農 水 (農振)	市民農園や空き農地等を利用して、消費者自らが農産物を生産することにより、安心・安全な食材の供給、地産地消の推進を図る。		設置数 2カ所 (H25)	市民農園設置1カ所	市民農園設置目標2カ所
20	農業体験教育推進事業	農 水 (農産)	学校教育や地域教育の各段階で実施される農業体験学習の受け皿として農業体験学習の指導等を行うインストラクターを置くとともに、研修ほ場の管理や、研修メニューの作成により受入体制を整備する。		実施予定	受入者数:668人	実施予定
21	食料自給率向上県民運動の推進	農 水 (農企)	食料自給率向上に向けた県民運動として、食料自給率向上月間の設定、講演会の開催など、各種啓発活動を実施し、県民の食料自給率に対する関心の醸成を図る。			<ul style="list-style-type: none"> 岡山めぐり総合フェア及び食料自給率向上推進大会の開催・食料自給率向上推進大賞表彰式(10/20) 啓発チラシ、野菜の種の街頭配布(10/1外) 県庁舎への懸垂幕の掲示(10月) 	<ul style="list-style-type: none"> 食料自給率向上推進大会の開催・食料自給率向上推進大賞表彰式 啓発チラシ、野菜の種の街頭配布 県庁舎への懸垂幕の掲示(10月)
22	地産地消の推進	農 水 (農企)	「自分たちの住む地域で作られたものを、その地域で消費しよう」をキーワードに、生産者と消費者の相互理解を深め、安全で安心な県産農林水産物の安定供給と消費拡大を目指す。			<ul style="list-style-type: none"> 「おかやま地産地消の日」の普及・定着 地産地消協力店の登録拡大 直売所の運営支援 地産地消おかやま村の開催 学生を対象とした出前講座 コンビニ等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 「おかやま地産地消の日」の普及・定着 地産地消協力店の登録拡大 直売所の運営支援 ホテル等との連携
23	米の消費拡大	農 水 (農企)	米を中心とした栄養バランスに優れた「日本型食生活」を定着させるため、今後の食生活の動向に大きな影響を及ぼす若い世代に重点を置き、米の重要性の啓発とごはん食の普及を進める。			<ol style="list-style-type: none"> ごはん食出前講座 <ul style="list-style-type: none"> 対象:栄養教諭、学校栄養職員等 1カ所 親子でごはんモリモリ講座 <ul style="list-style-type: none"> 対象:小学生と保護者 3カ所 	<ul style="list-style-type: none"> 地元トップクラブチームとの連携